

令和8年度（2026年度）  
くまもと花博実行委員会 第1回総会  
次第

日時：令和8年（2026年）6月3日（水）16時30分～

場所：熊本県商工会館2階会議室

- 1 開 会
- 2 主催者挨拶 実行委員会会長 熊本市長 大西 一史
- 3 報 告  
報告第1号 くまもと花博2025決算報告について（監査報告）
- 4 議 事  
議案第1号 令和8年度予算（案）について  
議案第2号 くまもと花博2026実施概要（案）について
- 5 閉 会

令和8年（2026年）6月3日


令和8年度（2026年度）くまもと花博実行委員会 第1回総会 名簿

区分	所属団体・職名（順不同）	委員氏名（敬称略）	備考
会長	熊本市長	おおにし かずふみ 大西 一史	
副会長	熊本商工会議所副会頭	にしむら まりこ 西村 まりこ	
	熊本経済同友会副代表幹事	ふくおか てつお 福岡 哲生	欠席
監事	熊本市会計管理者	たじま ちかこ 田島 千花子	
委員	熊本市中心商店街等連合協議会会長	いけお あきひろ 猪毛尾 彰宏	
	公益社団法人熊本県観光連盟会長	もり けいすけ 森 敬輔	
	熊本県森林組合連合会代表理事長	まえかわ おさむ 前川 収	欠席
	熊本県花き園芸農業協同組合代表理事組合長	つるいけ まさお 鶴池 正生	
	熊本県花き事業協同組合理事長	にしだ つとむ 西田 勉	
	水前寺江津湖公園利活用・保全推進協議会会長	いちかわ つとむ 市川 勉	
	一般社団法人熊本市造園建設業協会会長	よしむら まさひろ 吉村 昌洋	
	熊本市緑のマイスター養成講座講師	くわはら たかこ 桑原 たか子	
	龍田西校区自治協議会会長	おがた けいじ 緒方 恵治	
	城北校区自治協議会会長	ましま ひろし 真嶋 弘治	
国土交通省九州地方整備局建政部公園調整官	ありむら まさのぶ 有村 真宣		
総括 アドバイザー	東京農業大学名誉教授	みのも としたろう 蓑茂 壽太郎	※オンライン

# 令和8年度（2026年度）くまもと花博実行委員会 第1回総会 配席図

日時：令和8年(2026年)6月3日(水) 16時30分～

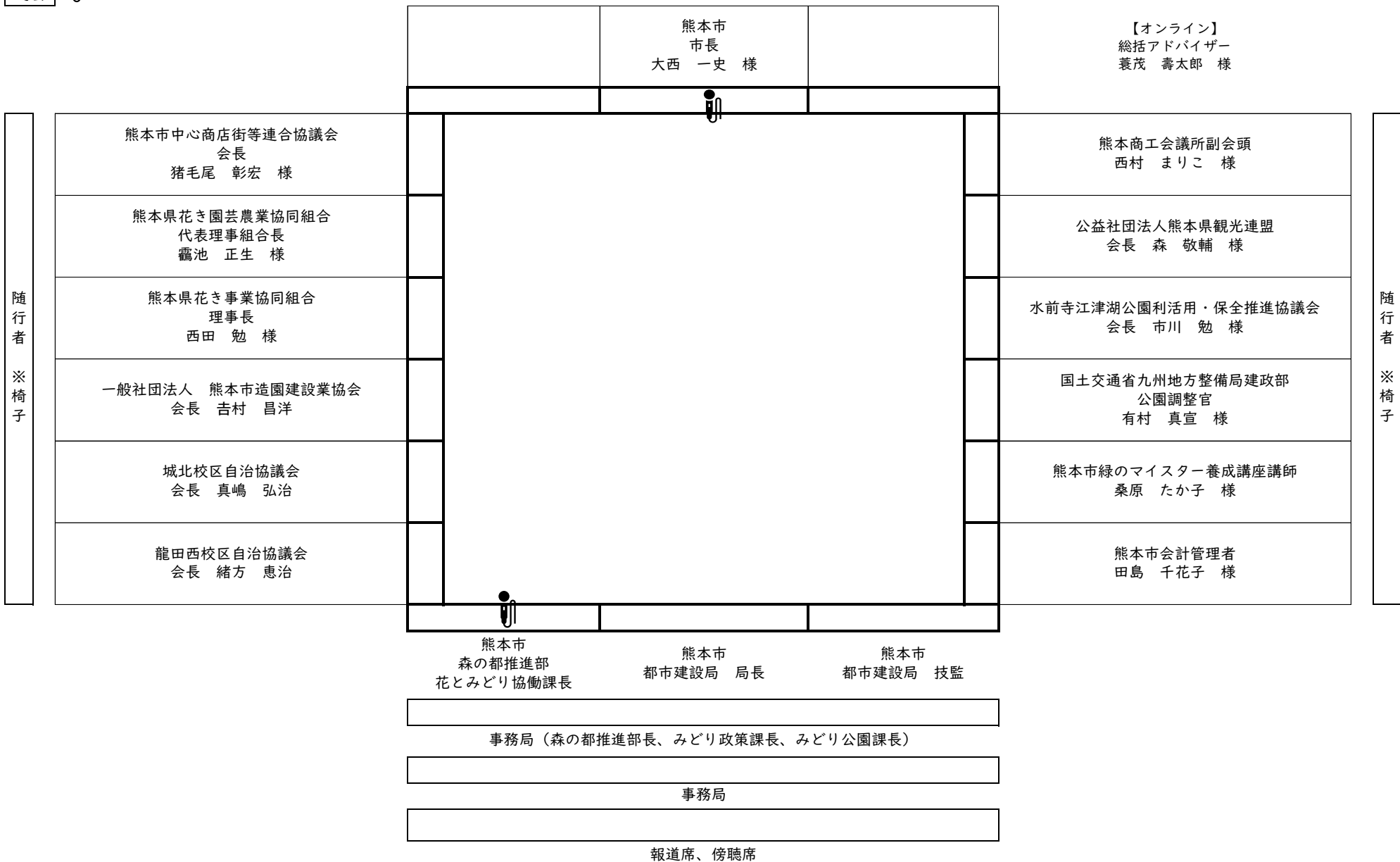
場所：熊本県商工会館2階会議室

司会 

出入口

随行者  
※椅子

随行者  
※椅子



令和8年度（2026年度）

くまもと花博実行委員会

第1回総会

会議資料

日時：令和8年（2026年）6月3日（水）16時30分

場所：熊本県商工会館2階会議室

# 報告第1号

## くまもと花博2025 決算について

### ■令和7年度決算

収入金額 89,293,295円

支出金額 78,400,993円

差 引 10,892,302円 (次年度繰越)

#### 【収 入】

(単位：円)

項 目	予算額 (A)	決算額 (B)	差引 (B-A)	主な内容
負担金	79,500,000	79,500,000	0	主催者負担金
協賛金	2,819,230	2,819,230	0	協賛金及び寄附金
繰越金	6,974,065	6,974,065	0	前年度繰越金
合 計	89,293,295	89,293,295	0	

※協賛金及び寄附金の内訳は別添のとおりです。

#### 【支 出】

(単位：円)

項 目	予算額 (C)	決算額 (D)	差引 (D-C)	主な内容
事務局費	700,000	522,032	177,968	事務局運営経費
事業費	48,393,295	46,354,800	2,038,495	街なかエリア実施運営費
	20,200,000	12,161,704	8,038,296	水辺エリア実施運営費
	2,000,000	1,600,000	400,000	まち山エリア実施運営費
	5,000,000	2,758,077	2,241,923	会場運営費 (警備・駐車場案内スタッフ等)
	13,000,000	15,004,380	▲2,004,380	観客誘致・広報宣伝費
合 計	89,293,295	78,400,993	10,892,302	

※支出内訳詳細は次項に掲載

■令和7年度 支出内訳

項目	金額 (円)
事務局費	小計 522,032 円
実行委員会総会開催経費、消耗品購入費、振込手数料等	522,032
街なかエリア	小計 46,354,800 円
花壇・花装飾関係経費	36,737,000
ワークショップ関係経費	3,300,000
中心市街地商業施設および民間タイアップイベント経費	6,317,800
水辺エリア	小計 12,161,704 円
民間タイアップイベント経費	182,930
ワークショップ関係経費	680,000
水辺エリア各種イベント運営経費	11,298,774
まち山エリア	小計 1,600,000 円
まち山エリア運営経費	1,600,000
会場運営費	小計 2,758,077 円
運営管理費用等 (街なかエリア・水辺エリア・まち山エリア)	2,758,077
観客誘致・広報宣伝関係	小計 15,004,380 円
紙面広告 (ポスターチラシ・新聞折込・フリーペーパー等)	1,355,320
テレビ CM、SNS 広告、広報動画制作等	13,649,060

支出計：78,400,993 円

※別途、まち山エリア森林環境教育事業として、熊本市より 10,500,000 円支出

協賛						
No.	振込日	金額	企業名	代表者職・氏名	郵便番号	住所
1	12月15日	330,000円	医療法人 幸会 なかの耳鼻咽喉科アレルギー科クリニック	理事長 中野 幸治	862-0962	熊本県熊本市南区田迎4丁目9番41号
2	12月25日	110,000円	株式会社ヒューマン・ライフ	代表取締役 松崎 武則	861-8006	熊本県熊本市北区龍田3丁目32-18
3	12月26日	330,000円	株式会社通宝	代表取締役 塚田 一成	862-0946	熊本県熊本市東区画図町所島1100
4	12月30日	330,000円	株式会社 永野商店	代表取締役社長 永野 順也	861-8072	熊本県熊本市北区室園町10-22
5	12月30日	110,000円	株式会社 福德開発	代表取締役社長 内村 真一朗	861-5514	熊本県熊本市北区飛田4-6-60
6	1月30日	110,000円	株式会社フジバンビ	代表取締役社長 松本 順次	861-5515	熊本県熊本市北区四方寄町 1445-1

寄附						
No.	振込日	金額	企業名	代表者職・氏名	郵便番号	住所
1	3月6日	1,500,000円	アデル・カーズ株式会社	代表取締役 池永 成正	861-4101	熊本県熊本市南区近見6丁目22番70号

※熊本市負担金のうち、企業版ふるさと納税等による寄附

・鹿児島銀行 ・株式会社江良水産 ・マインドソフトウェア株式会社

# 監 査 報 告

くまもと花博実行委員会会則第22条の規定に基づき、令和7年度（2025年度）会計収  
支決算について、収支決算書、証拠書類及び諸帳簿を監査した結果、その内容は適正であると  
認めます。

くまもと花博実行委員会

監事

令和 8 年 5 月 15 日

熊本市会計管理者

田島 千花子 

議案第1号

令和8年度予算（案）

令和8年度収支予算

収入金額 64,892,302円

支出金額 64,892,302円

差 引 0円

【収入】

（単位：円）

項目	金額	主な内容
負担金	54,000,000	主催者負担金
繰越金	10,892,302	前年度からの繰越金
合計	64,892,302	

【支出】

（単位：円）

項目	金額	主な内容
事務局費	700,000	事務局運営経費
事業費	64,192,302	街なかエリア実施運営費 39,192,302円 水辺エリア実施運営費 5,500,000円 まち山エリア実施運営費 2,000,000円 会場運営費 2,500,000円 観客誘致・広報宣伝費 15,000,000円
合計	64,892,302	

別途：市予算にて、まち山エリア森林環境教育事業として計上  
予算額 10,500,000円

議案第2号

くまもと花博2026実施概要（案）について

別紙のとおり

## 開催概要 ■開催期間 令和8年11月20日(金)～11月29日(日) [10日間]

土日祝日5日間(11/21～11/23は連休)

「くまもと花博2025」では、行政主導型から市民参画へとシフトし実施したところだが、「くまもと花博2026」はその流れをさらに発展させ、市民が企画段階から参加する「市民主体」の取組を推進するとともに、市民一人ひとりが“主役”として各種活動やイベントに参加できる「市民協働」及び「市民参画」の取組を進めていく。

あわせて、「一人一花運動」との連携を強化し、花とみどりを日常に取り入れた持続的なまちづくりを推進するため、市民参加型のワークショップやボランティア活動を充実させるとともに、市民自らが企画・立案するイベントを通じて、花やみどりの大切さを広く発信していく。さらに、四季折々の魅力を生かした多彩なイベントを年間を通じて開催し、地域の賑わい創出と市民同士の交流促進を目指す。

### ■開催場所(メイン会場)



《街なかエリア》  
中心市街地一帯



### 《水辺エリア》

水前寺江津湖公園一帯  
・上江津湖エリア、下江津湖エリア  
・動植物園  
・水前寺成趣園、ジェーンズ邸



《まち山エリア》  
立田山一帯

### ■アイコンの見方

本資料中エリア毎のページ(1～3)には、イベントのもつ要素に応じたアイコンを付しています。

① 市民のイベントへの関わりの深さ



市民主体 … 市民が企画から参加し、主体的に参加する  
市民協働 … ボランティア活動などにより市民とともに作り上げていく  
市民参画 … イベントに参加してもらい、体験していただく

② 民間・他部署とのタイアップイベント



③ 一人一花運動 関連事業

(一人一花運動の既存事業との連携や広報を実施)



## 委員からの御意見への回答及び対応について(R7年度第4回総会より)

	ご意見	回答及び対応案	委員名 ※敬称略
一人一花運動 に関すること	パートナー花壇の登録、オープンガーデン、スポンサー花壇といった事業展開においては、行政が業務を通じて多様な業界と関係性を有している点を活かし、関連する業種へ取組を広げていくことが効果的だと思われる。	様々な分野にこの運動を広めていきたい。福岡では民間・市民の皆さんも自発的に参加されており、協働でのまちづくりが定着していている。委員の皆様におかれましても、関係各所に広めていただけたら嬉しいと思う。	吉村
	例えば、開催の1か月前に全員でバッジを着用するなど、市全体として一体となった広報をすると思う。	公用車への一人一花ロゴマグネット貼付等、全庁的に進めているところ。今後はさらに各区役所やまちづくりセンターなど、日頃から地域との事業を進めている部署とは、特に連携を取ってやっていきたい。	桑原
	正面玄関前の大花壇がとても綺麗だが、あまり目立たず、写真を撮りづらい位置にあるのもつたいたいと感じた。	俯瞰した視点で、フォトスポットとしてのアピールについても検討していきたい。メディアのみなさんから取り上げていただけるような広報活動も実施を検討する。	
花博の開催概要 について	八景水谷や坪井遊水地も水辺エリアの候補地としていかがかと思うが、どうか。	アクションプログラムではいずれも事業を展開している。そういった事業を花博として取り上げていければと思う。	桑原
	小山山の場所が分かり辛かったという声があった。看板等の設置や、経路案内をしっかりと行っていただきたい。より地域に寄り添った取組を心がけてほしい。	看板が分かり辛かったと思うので、次回はしっかり広報していく。地域との取組に関しては期間が短いという問題があったため、サイクルの通り前年の9月頃から調整をしていく。持続可能な取組として花博を使っていただけたらと思う。	外村 (田中委員代理)
	地域の皆さんと連携できるように委員会を立ち上げるなどして密に連携をとっていただきたい。一体感や広がりが出てくると思うので検討して欲しい。	立田山周辺住民等による意見交換を行い、連携して事業を進めていく。	
	予算上は昨年よりも事業費が少なくなっていると思うが、予算に合わせた事業をするという事でよろしいか。	市民主体にシフトしていくことで、予算内で様々な取組ができるように力を入れていきたい。	西村

# 1.街なかエリアについて 中心市街地一帯

## (1) 辛島公園エリア

### 花のトンネル

毎年好評の「花のトンネル」を辛島公園に設置。

市民ボランティアや地域の方々と協力して花の装飾を施し、『市民協働』で作り上げていく。

周辺ではキッチンカーの出店や花のワークショップを実施し、人が多く集まるようなイベントを計画中。

花博の開幕日(11/20)にはお披露目イベントとして開通式を行う。



## (2) 新市街エリア

### ミニガーデンコンテスト

くまもと花博2025では植物園内で開催したコンテストを、2026は新市街アーケードで開催。より多くの人にコンテストに参加していただける環境で、審査方法なども再考した新たなコンテストを開催する。フラワーデザインコンテストと合わせて、最終日のエンディングイベントにて表彰を行う予定。



## (3) 上通・下通エリア

### フラワーデザインコンテスト

市民の方に生け花やアレンジメントを出展していただく【フラワーデザインコンテスト】を今年も開催。個性豊かな作品は、さまざまな花の楽しみ方や表現方法があることを知っていただく機会になる。



### 中心市街地 商業施設タイアップ

COCOSA・HAB@など、中心市街地の核となる各商業施設と、花の装飾・展示や広告等のタイアップの取組を行い、中心市街地内の回遊性を向上。

〈昨年度参考〉  
COCOSA(ミニツリー作り) HAB@(キャンドル作り等)



### フラワーワークショップ

美しいフラワーアレンジメントなど、自分の手で花や緑を使って作成する喜びや楽しさを体験できる場の展開。

作成したものを各家庭に持ち帰ることで、日常に心と体を癒す花や緑で彩る。



## (4) エリア未定

### 県内市町村連携

熊本県の市町村のうち、希望する市町村にブースを出展していただく。



### 商店街独自のイベント

上通・下通・新市街それぞれアーケード内商店街の繁栄会で商店街の特色を生かした取組を実施。商店街を中心に市民が主体となってイベントを作り上げていくことで、花博が市民活躍の場となる。



- ・商店街の特色に合わせたタイアップイベントの開催(例:フラワーマルシェ、ワークショップなど)
- ・アーケード内での花・みどりの装飾

### こどものお花屋さん体験イベント



市内の花屋さんなどに協力してもらい、花・緑に関する職業体験のイベントを開催する。こどもが花・緑に触れる場となり、学びの機会となる。



### 他部署連携

庁内の他部署と連携し花や緑に関する物販やワークショップ等を実施。

- ・おとなりマルシェ(障がい福祉課)



### エンディングイベント

イベント最終日を締めくくるエンディングイベントを開催!

各種コンテストの表彰と、高校生×杉本琢弥さんのステージイベントなどのプログラムを予定。



## (1) 水前寺エリア

### 水前寺WhiteXmas

12月上旬(予定)

県内に現存する最古の洋館「熊本洋学校教師ジェーンズ邸」にて、花装飾を実施。

また、クリスマスに合わせたフラワーワークショップを開催予定。

「花と緑を日常に」をコンセプトに掲げ、ジェーンズからつながる植物のある暮らしの提案。



文化財課との共同開催



## (2) 上江津エリア

### 江津湖living

10月上旬(予定)

くまもと江津湖魅力化推進協議会が企画。熊本で人気のショップが集まり、家族で一日楽しめるマルシェを開催。上質な音楽とともに、江津湖の豊かな自然に囲まれた癒しひとときを。江津湖の保全について学べるブースも設置。



### 上江津探鳥会

11月上旬(予定)

日本野鳥の会熊本県支部による、秋の野鳥観察会を開催。秋の江津湖で出会えるカワセミ、ゴイサギ、カイツブリやヒドリガモ、オオバン、ジョウビタキなどの野鳥を観察。



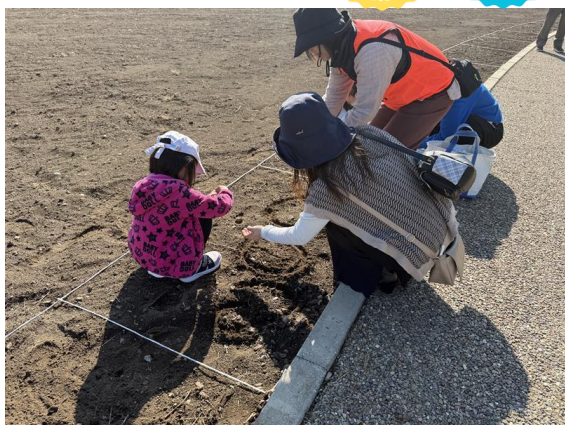
## (3) 動植物園エリア

### ナノハナ種まき体験会

11月中旬(予定)

動植物園のコスモス大花壇が、春のナノハナへと衣替え。ナノハナの種まき体験会を実施します。

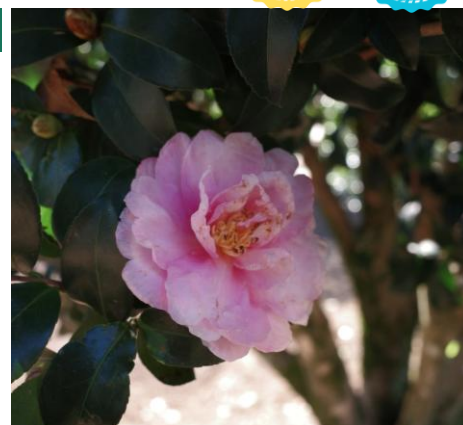
多くの方から自分たちが植えたナノハナが来年咲くことを楽しみにしているとの声をいただけます。



### 肥後六花のPR

11月上旬(予定)

熊本市動植物園の肥後六花展示エリアにて、肥後山茶花が見ごろを迎えるため、PRを積極的に行い、くまもと花博を通して、熊本で受け継がれる肥後六花の歴史や思いに興味を持っていただく取組。



## (4) 下江津(広木)エリア

### みなも祭り

10月下旬(予定)

熊本市造園建設業協会による企画。「江津湖の水と緑をみんなでもっと楽しもう」をコンセプトに、地上絵や飲食・物販のマルシェ、自然観察会、江津湖クルージングなど、盛りだくさんのイベントを開催。



(1) 八景水谷公園エリア

アートトレイルin八景水谷

CHIKAKENプロデュースによる幻想的な空間を提案。立田山で間伐された木や竹を使用した、アートを演出。花博開催期間中、夜間はライティングを行い、ナイトウォークを実施。

付近には子どもたちが楽しめる竹ブランコ、キッチンカーや食事スペースを整備し、家族連れがゆっくりと楽しめる場を提供。



(2) 立田山エリア

竹を使ったワークショップ

立田山で間伐により発生した竹を有効活用したワークショップを開催。竹林整備の現場や立田山の自然環境に実際に触れながら、放置竹林がもたらす課題や森林管理の重要性を学ぶ機会を創出。



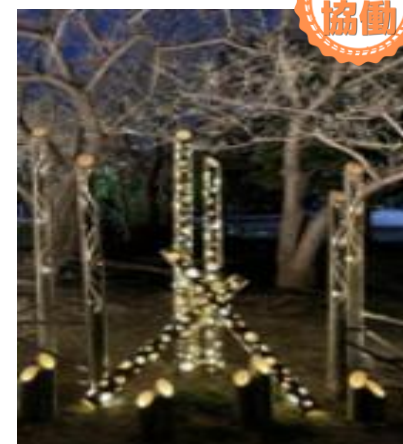
木育ワークショップ

立田山で環境保全を目的として伐採された木材を活用したワークショップを開催。本ワークショップでは、森林整備により生まれた木材資源を無駄なく活用する取組として、立田山の森づくりの背景や役割を学びながら、木に触れ、使う体験の場を提供。



竹あかりワークショップ

間伐した竹を活用し、竹あかりを作成するワークショップの実施。作製した竹あかりは期間中、アートトレイルでの装飾やかまち山エリア内各地に設置され、彩と安らぎを演出。



立田山ツリークライミング

専用のロープ等を利用して木に登り、木や森、自然との一体感を味わう体験活動。「樹上から」という今までとは違う視点で森を見たり、五感を使い樹上の自然を体感。



かぐや姫プロジェクト

昨年度、好評だった「かぐや姫プロジェクト」を今年も開催。立田山で間伐により発生した竹を活用し、小中学校及び子ども園の皆様へ竹製プランターを制作してもらった取組み。制作したプランターには草花を植え付けていただき、花博会場に設置。



自然観察 生き物探し

立田山に住む生き物観察イベント。地域の特性を反映した多様な生態系にせまり、生物多様性がもたらす恵を学ぶ。



# 4.広報計画について

今年度、『くまもと花博』は、作成した広報計画を基に、広報課と連携をしながら様々な広報を行う予定としている。また、水辺エリア及びまち山エリアへのアクセス方法の周知による来場者数の増加を目指し、さらには県外の方や外国人の方にもイベントを知っていただけるような広報に取り組むこととしている。

## ホームページ

### くまもと花博HP



くまもと花博の華やかで楽しげなイメージと、自然とのふれあいを表現するため、昨年度くまもと花博専用HPを改装。各エリアの見どころや、イベント情報等を掲載。また、開催期間中の様子を随時掲載し、情報の発信を行う。

### 熊本市HPへの掲載

熊本市のHPにフラッシュバナー等でイベント情報を掲載し、くまもと花博HPへのリンクを設置。これにより、くまもと花博の魅力の広報、観光客や市民への最新イベント情報の提供など、情報発信の強化を行う。

## テレビ・ラジオ

### 市政広報テレビ・ラジオ

市政広報番組『こんばんは熊本市』や市政広報ラジオ『おはよう熊本市』などを活用し、『熊本花博』を幅広い世代に親しみやすい内容で放送。



### テレビCM・ラジオ

『くまもと花博』の魅力、テレビCMとして放送し、テレビ視聴者への広報を行うほか、くまもとシティFMでの広報も予定している。



## ポスター・チラシ・広報誌・サイネージ掲載

### ポスター・チラシの配布、デジタルサイネージでの広告

アンケート結果で効果のあったポスター・チラシを今年度も作成。市有施設や商業施設等にて掲示を行い、施設やイベントの来客者に対し広報を行う。



### フリーペーパー（熊日すぱいす・リビング）・市政だより

熊本市を中心に28万部配布のフリーペーパー「くまにちすぱいす」、熊本市内の小学生児童がいる家庭などに発行される「FM791子ども新聞」等の広報誌に掲載。そのほか、市政情報をお知らせする刊行紙『市政だより11月号』にイベント情報を掲載予定。



## インフルエンサーによる広報

### 広告塔の起用

去年は、インフルエンサーの杉本琢弥氏とのコラボレーションにより、多くの若者に注目していただいた。今年もイベントの成功に向けて広報活動を強化するため、昨年に引き続き、インフルエンサーの方にご協力いただき、さらなる来場者数の増加を目指す。



## SNS掲載

### Instagramにおける取組

SNSでの情報発信に加え、市民の方の日常生活での花とみどりの取り入れ方に関するアイデアを発信していく予定。



### 各種SNSでの広報

熊本市公式のFacebook・X・LINEで、画像や動画を活用した情報を配信。また、森の都推進部のInstagramを活用し期間中のイベント情報やイベント時の動画等の配信を行う。



### You Tube・Yahoo等

YouTubeやYahoo! JAPANでのディスプレイ広告の掲載をおこない、HPへの誘導を行う。また、『くまもと花博』の魅力あるコンテンツを通じて幅広い層にアプローチを行う。



### Instagramでのフォトコンテスト

Instagramにて花博会場の写真を投稿することで応募できる「フォトコンテスト」を昨年に引き続き開催。作品を通じて、会場の様子や花とみどりの魅力を知ってもらえるきっかけとなる。募集終了後審査を行い、入賞者には景品をプレゼント。

